

春日井市介護認定審査会委員アンケート結果

調査期間 令和7年12月9日～12月21日

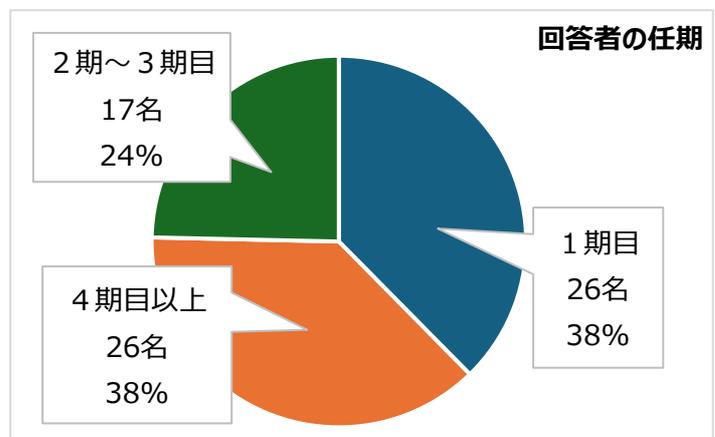
回答依頼人数 75名

回答人数 69名 (回答率 92%)

回答者の内訳

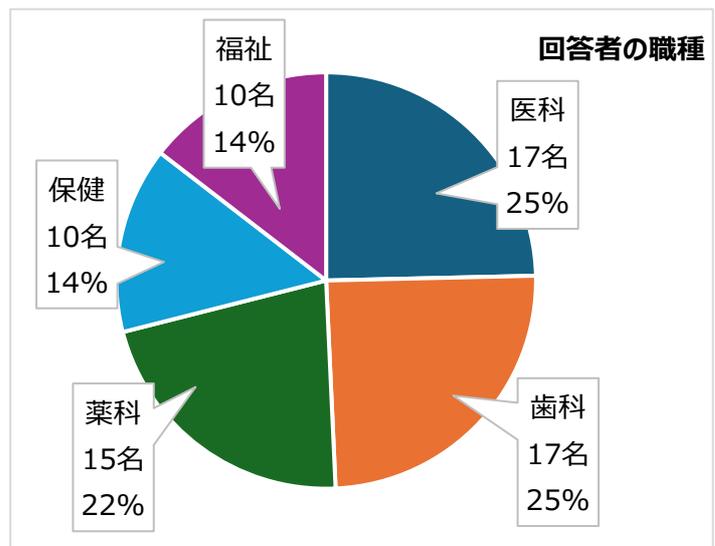
任期別

任期	
1期目	26名
4期目以上	26名
2期～3期目	17名
総計	69名



職種別

職種	
医科	17名
歯科	17名
薬科	15名
保健	10名
福祉	10名
総計	69名

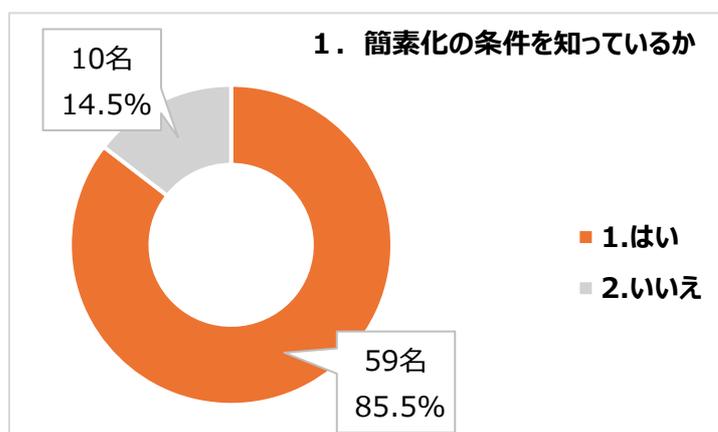


簡素化について

1. 簡素化の条件について

簡素化の条件をご存じですか

1. 簡素化の条件を知っているか	
1.はい	59名
2.いいえ	10名
総計	69名

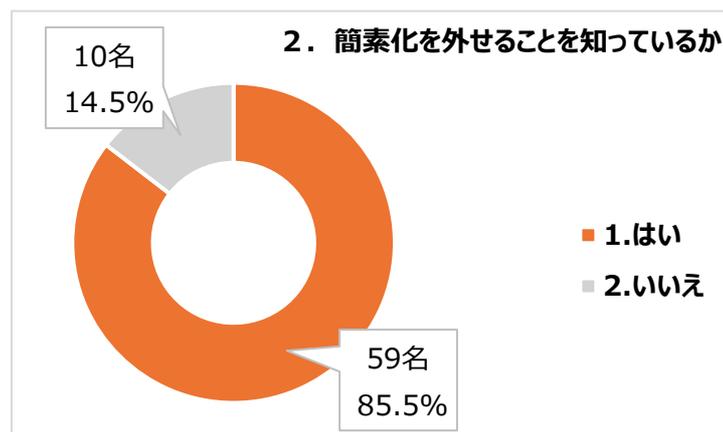


「2.いいえ」と答えた委員の10名中7名は任期1期目の委員であった。

2. 簡素化事例の疑義について

簡素化事例の内容に疑義がある場合は、簡素化でなく通常事例として審査することができることをご存じですか

2. 簡素化を外せることを知っているか	
1.はい	59名
2.いいえ	10名
総計	69名

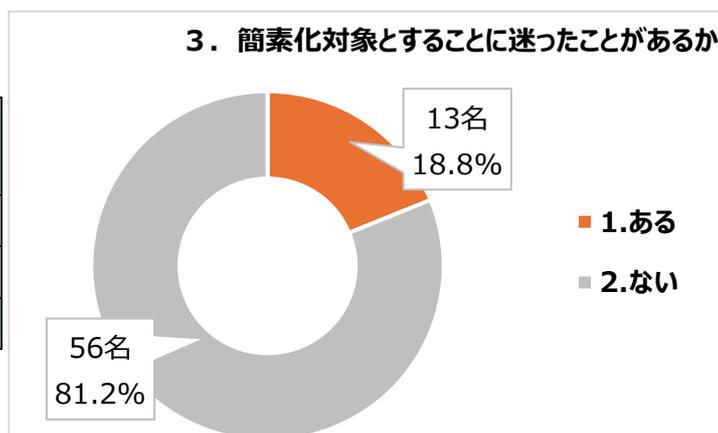


「2.いいえ」と答えた委員の10名中7名は任期1期目の委員であった。

3. 簡素化の判断について

簡素化対象とすることに迷った事例や通常事例として審査したいと思った事例はありますか。

3. 簡素化対象とすることに迷ったことがあるか	
1.ある	13名
2.ない	56名
総計	69名



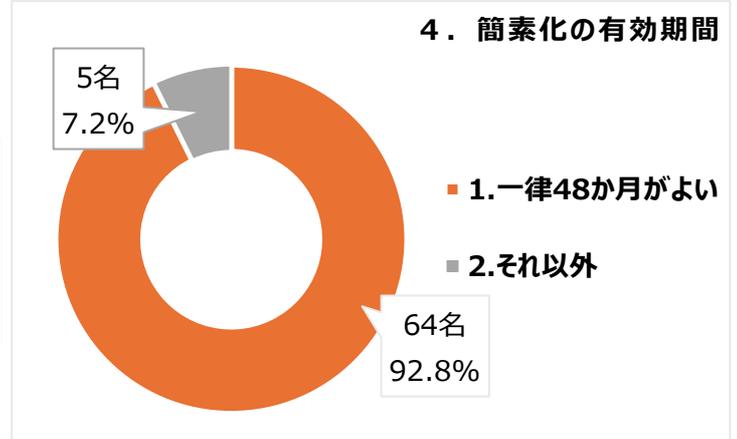
「1.ある」を選択された委員は全員簡素化条件・簡素化を外せることを知っていると感じた委員であった。

「1.ある」を選択された場合の具体的な事例
<ul style="list-style-type: none"> ・要介護 4 の事例で要介護 5 と迷う事がある。 ・区分の境界を超える介護の手間が多くかかっていると考えられる事例。 ・要介護 4 から要介護 5 への変更が適切と考えられた事例があった。 ・排泄関係の手間が多く全員が重度変更していたため、通常事例と取り扱われた。

4. 簡素化の有効期間について

簡素化の有効期間の判断についてお伺いいたします。

4. 簡素化の有効期間	
1.一律 48 か月がよい	64 名
2.それ以外	5 名
総計	69 名



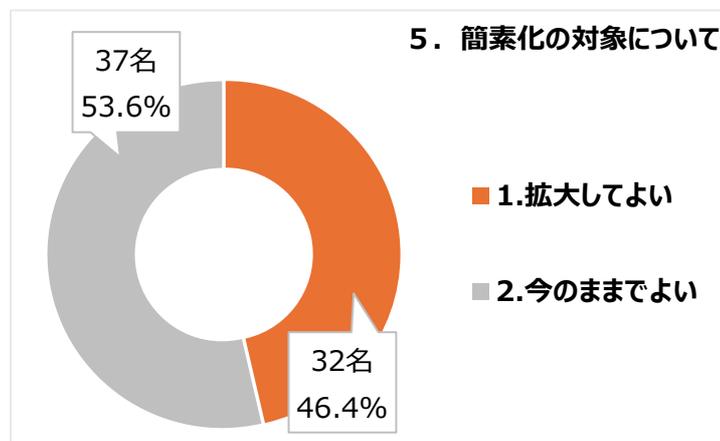
「2.それ以外」を選択された委員は上記質問 1.2.3 のいずれかで「いいえ」または「ない」を選択されていた。

「2.それ以外」を選択された意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ルールがよく分かっていないから ・要介護度変更で 4、5 になった事例も含めるなら 36 ヶ月の選択肢も必要 ・より短い期間が望ましいこともある。

5. 簡素化の対象について

簡素化の対象を拡大することについてご意見をお伺いします。

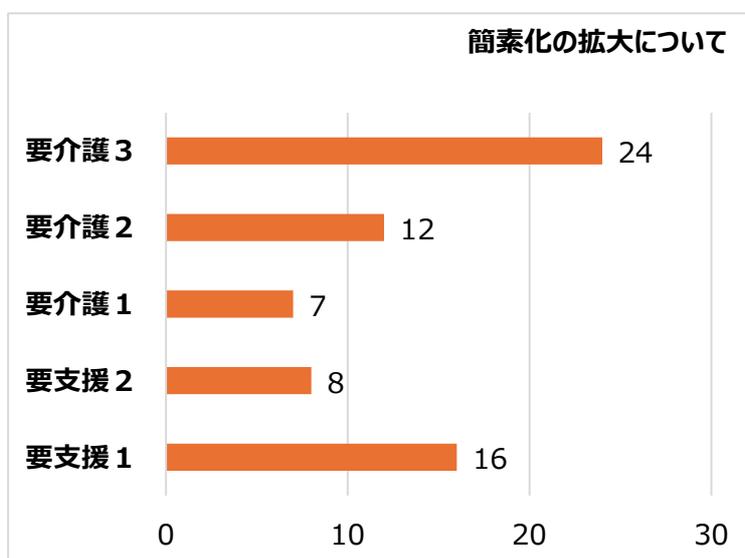
5. 簡素化の対象について	
1.拡大してよい	32名
2.今のままでよい	37名
総計	69名



「1.拡大してよい」を選択された場合、簡素化対象としていい要介護度はどれですか

(複数選択可)

	(複数選択可)
要支援 1	16名
要支援 2	8名
要介護 1	7名
要介護 2	12名
要介護 3	24名



拡大してよいの意見のうち、要支援 2、要介護 1 を選択される委員は少ない傾向にある。

「1.拡大してよい」を選択された理由

要支援 1
<ul style="list-style-type: none"> ・大きな変化なく生活を維持している方が多い。 ・サービスを必要としない方が多い。
要支援 2
<ul style="list-style-type: none"> ・大きな変化なく生活を維持している方が多い。 ・予防が前提にある、手間の議論が少ないため。
要介護 1
<ul style="list-style-type: none"> ・安定している。
要介護 2
<ul style="list-style-type: none"> ・安定しており、体調や病状にあまり変化がない。
要介護 3
<ul style="list-style-type: none"> ・若年者やリハビリ中以外は安定しており体調や病状にあまり変化がない。 ・重度化キワ 3 分以内でなければ、要介護度が変わる可能性が少ない。 ・ケアマネージャー等関わっているので、必要時の変更申請も速やかと考えられる。 ・施設サービスとの区切りの要介護度である。
全ての要介護度
<ul style="list-style-type: none"> ・条件を満たせば全てに適用可能と考える。 ・あまり状況が変わらない事例が多い。 ・簡素化となる事例は各委員の事前審査の意見が一致していることが前提であるため。 ・今後数十年は認定者数も増加傾向にあると考えられるため、各方面において効率化による負担軽減は必須である。

その他

- ・**要支援 2 要介護 1 は振り分けが要るので審査が必要になる。**
- ・国の簡素化条件に要支援 2 又は要介護 1 で状態が安定の場合は、簡素化が可能という項目がある。
- ・簡素化該当でも通常事例として審査したい場合は、可能であることを審査会委員が心得ていれば拡大をしても問題ない。
- ・生活環境や身体機能、状態に変化がなければ同じ要介護度でも問題ない。

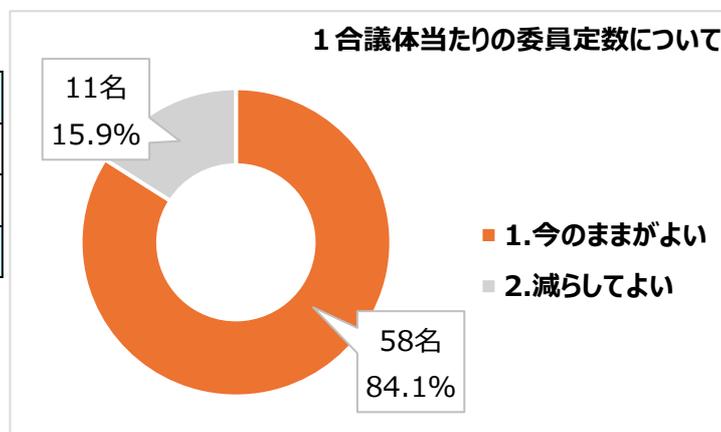
「2.今のままでよい」を選択の意見

- ・簡素化対象を拡大しなくても議事の簡素化は出来ている。
- ・要介護 4、5 については、状態の変動が少ない場合が多いため。
- ・要介護 3 以下では、状態の変化が考えられる可能性が要介護 4、5 より高いと思われる。
- ・簡素化に迷った事例が少なく必要な場合は通常事例として審査できているので、今のままで良い。
- ・要介護 3 以下は、介護の手間があり二次判定が変更になりやすいと考える。
- ・軽度の方は、サービスの利用は考えていないがとりあえず認定を受ける方が多く見受けられるため。
- ・不満がない。
- ・ルールがよく分かっていないから。
- ・簡素化事例も丁寧に予習を行っているが、通常事例よりは時間をかけていない。
- ・緊張感を持つために今のままがいい。
- ・現状維持、回復が得られない対象のみが良い。
- ・簡素化の対象を拡大するなら、4、5 の人以外は 2 回以上の連続更新で同じ要介護度の人を対象とすることを提案したい。

審査会委員定数について

1. 1 合議体あたりの委員定数について望ましいと思われるのはどれですか

1. 委員定数について	
1.今のままがよい	58 名
2.減らしてよい	11 名
総計	69 名



「2.減らしてよい」を選択された場合、何名の委員定数ならよいと考えますか

何名の委員定数ならよいか	
3 名	8 名
4 名	3 名
総計	11 名

- ・現状の委員定数（5 名）を望む回答が約 84%であった。
- ・4 期以上の委員の 26 名中 25 名が「今のままがよい」を選択されていた。
- ・委員定数については、「3 名」を選択した 8 名のうち 5 名が医科であった。

「1.今のままがよい」を選択の意見

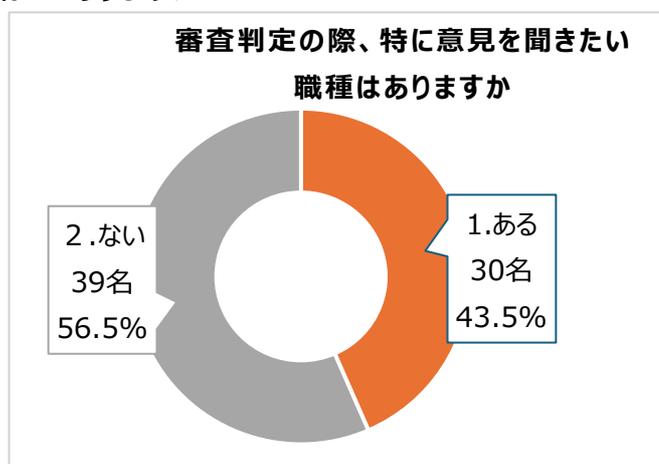
- ・多数決となる事例では奇数人数の方が効率よく審査が進むと思う。
- ・急な欠席が必要になることもあり、委員欠席により審査会が開催できなくなるリスクは避ける必要がある。
- ・多職種の意見を参考にして、協議できる。
- ・判断に迷う事例の場合、それぞれの専門職からの気付き・判断・解釈を聞くのは有意義であるため。
- ・人数が減ると、様々な観点から見るができなくなる。人数を増やすのは考えてもいいが、減らすことはしないほうが良いかと思う。
- ・減らすと事例担当数が増える。
- ・現在の職種の構成が適切だと思う。
- ・削減すべき職種を決めかねる。

「2.減らしてよい」を選択の意見

- ・いつ設計された制度だかは知らないが、年齢人口比率的に無理があると考えられる。
- ・5 職種すべて揃わなくとも合議が成り立つと思う。
- ・意見の食い違いがそれほどない。
- ・専門の人だけで相談された方が良い。
- ・どの業界も人手不足であり、人員確保に苦慮すると考える。
- ・人数を減らして、合議体を増やして、各合議体で審査する件数を減らしたほうが良いと考える。また主治医意見書があるので、医師の参加は不要と考える。

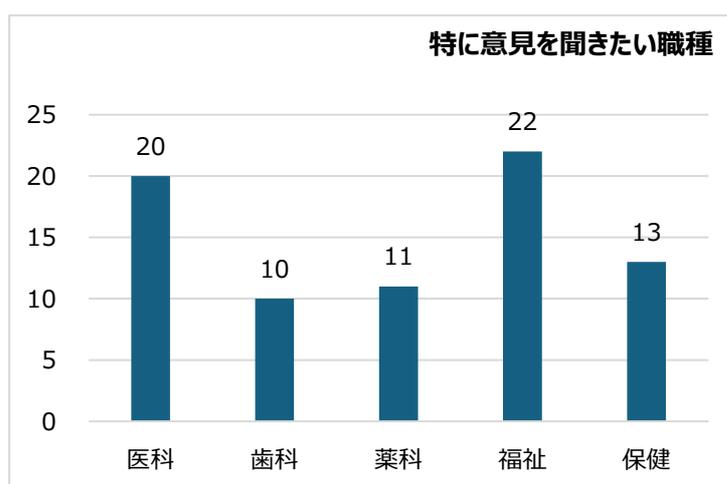
2. 審査判定の際、特に意見を聞きたい職種はありますか

2. 他職種の意見について	
1.ある	30名
2.ない	39名
総計	69名



「1.ある」を選択された場合、それはどんな職種ですか（複数選択可）

職種	(複数選択可)
医科	20名
歯科	10名
薬科	11名
福祉	22名
保健	13名



- ・上記 2 で「1.ある」を選択された委員 30 名のうち、医師と福祉の選択は半数を超えている。また、全職種を選択された委員は 12 名もいた。

上記 2 . 選択の具体的な理由**【医科】**

- ・疾病については知識がなく、意見書を読んでも疾病からどういう状況かわからないことがある。
- ・病気の病状や進行度等の意見が聞けると、今後半年の状態の悪化についての審査の参考になる。
- ・現在の身体状況や疾患の進行具合の意見を聞きたい。
- ・今後の一般的な経過を知りたい。

【福祉】

- ・入所中の方などがどのような施設環境で過ごしているのか、環境の適・不適で本人の現状に影響していないかなどを知りたい。
- ・要介護認定審査対象者の生活現場の状況に近い職種であるから。
- ・実際の現場で介護の現状をわかっている、手間が具体的に分かりやすい。
- ・介護の知識が多く、とても参考になる。

【歯科・薬科】

- ・専門職として、病状や口腔内の状況、服薬状況がどれくらい現状の介護の手間に関係するのか意見を聞きたい。

【全体】

- ・各職種の専門的意見を参考にしたい。
- ・違った視点や職種の違いからさまざまな意見交換ができる。
- ・自分にはない視点知識を持っているから。

3. 現在の職種以外に参加してほしい分野の職種はありますか

3. 参加してほしい分野の職種	
1.ある	4名
2.ない	65名
総計	69名

「1.ある」を選択された具体的な回答

- ・理学療法士
- ・理学療法士等のリハビリ職
- ・病院看護師
- ・社労士